

(19) 日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-123630

(P2002-123630A)

(43) 公開日 平成14年4月26日 (2002.4.26)

| (51) Int.Cl. <sup>7</sup>   | 識別記号                             | F I           | データベース* (参考)                       |
|-----------------------------|----------------------------------|---------------|------------------------------------|
| G 0 6 F 17/60               | 1 3 8<br>Z E C<br>3 1 8<br>5 0 6 | G 0 6 F 17/60 | 1 3 8<br>Z E C<br>3 1 8 A<br>5 0 6 |
| B 6 0 S 5/00                |                                  | B 6 0 S 5/00  |                                    |
| 審査請求 有 請求項の数 9 O L (全 12 頁) |                                  |               |                                    |

(21) 出願番号 特願2000-316421(P2000-316421)

(22) 出願日 平成12年10月17日 (2000. 10. 17)

(71) 出願人 599058464

株式会社 柏車輦

千葉県柏市松ヶ崎973番地

(72) 発明者 芳野 雅彦

千葉県柏市松ヶ崎973番地 株式会社柏車輦内

(74) 代理人 100068618

弁理士 尊 経夫 (外3名)

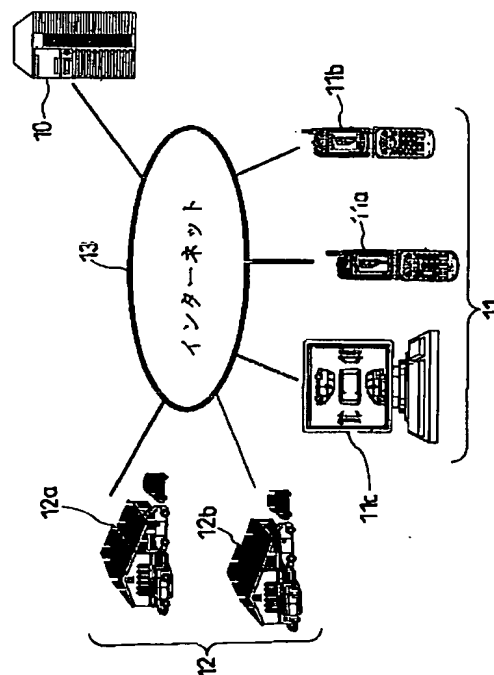
Fターム(参考) 3D026 BA01 BA21 BA28

(54) 【発明の名称】 自動車損傷修理システム及び自動車損傷見積り修理方法

(57) 【要約】

【課題】インターネットを介して行う自動車損傷修理システム及び自動車損傷修理見積り方法を提供する。

【解決手段】インターネット13上に自動車損傷情報を入力する自動車損傷情報入力手段11と、損傷情報に基づいて見積りと該見積り結果を回答する自動車損傷見積り手段10と、損傷した自動車を修理する修理工場12とを結ぶ。前記自動車損傷情報入力手段11は、損傷自動車の図面を表示し該自動車を特定する情報と損傷箇所と電話番号とを前記自動車損傷見積り手段10に送信する。自動車損傷見積り手段10は、前記入力手段から送信された入力情報を受信して前記損傷した自動車の見積り回答を前記自動車損傷情報入力手段11に送信するとともに前記自動車の修理工場12を検索して修理工場12に見積りと修理依頼とをする



【特許請求の範囲】

【請求項1】インターネット上に自動車損傷情報を入力する自動車損傷情報入力手段と、該自動車損傷情報に基づいて見積りと該見積り結果を回答する自動車損傷見積り手段と、損傷した自動車を修理する修理工場とを結んだ自動車損傷修理システムであって、前記自動車損傷情報入力手段は、損傷自動車の図面を表示する表示手段と、該自動車を特定する自動車基本情報と損傷箇所を指定する自動車損傷情報と電話番号とを入力する入力手段と、前記自動車基本情報と自動車損傷情報と電話番号とを前記自動車損傷見積り手段に送信する手段を有し、自動車損傷見積り手段は、前記入力手段から送信された各種情報を受信する手段と、前記損傷自動車の図面と、前記損傷した自動車の見積り回答を前記自動車損傷情報入力手段に送信する手段と、前記自動車の修理工場を検索する手段と、該検索結果に基づいて前記検索された修理工場に見積りと修理依頼とをする手段とを具備することを特徴とする自動車損傷修理システム。

【請求項2】請求項1に記載の自動車損傷見積り手段は、自動車損傷見積り手段から送られた自動車基本情報を用いて損傷自動車と同じ自動車を樹目で区分して表示された前面図、後面図、上面図、側面図の任意の図面を自動車損傷情報入力手段に送信することを特徴とする請求項1に記載の自動車損傷修理システム。

【請求項3】請求項1に記載の自動車損傷見積り手段は、前記自動車損傷情報入力手段から送信された損傷自動車の損傷箇所を指定した樹目の箇所、面積に応じて損傷箇所を特定し、自動車の修理金額と修理に必要な作業日数の見積りを算出し、前記自動車損傷情報入力手段に見積り回答を送信することを特徴とする請求項1又は2に記載の自動車損傷修理システム。

【請求項4】請求項1に記載の自動車損傷見積り手段は、自動車損傷情報入力手段から入力された電話番号を用いて自動車の修理をする少なくとも一つ以上の修理工場を検索する手段を有し、該検索結果に基づいて前記検索された修理工場に損傷自動車の修理見積り依頼を行うことを特徴とする請求項1から3の何れかに記載の自動車損傷修理システム。

【請求項5】請求項1に記載の自動車損傷情報入力手段に表示される任意の自動車図面は、行方向及び列方向に樹目の番号を付し、損傷箇所に該当する樹目を番号で選択することを特徴とする請求項1から4の何れかに記載の自動車損傷修理システム。

【請求項6】請求項1に記載の自動車損傷見積り手段は、前記修理に必要な見積り回答には、少なくとも作業日数、修理金額、自動車修理工場とを含むことを特徴とする請求項1から5の何れかに記載の自動車損傷修理システム。

【請求項7】請求項1に記載の自動車損傷情報入力手段は、携帯電話であることを特徴とする請求項1から6の

何れかに記載の自動車損傷修理システム。

【請求項8】請求項1に記載の自動車損傷見積り手段は、検索された自動車修理工場の中から納期、工場ランクを優先的に参照して推薦修理工場を決定し、前記自動車損傷情報入力手段に送信することを特徴とする請求項1から7の何れかに記載の自動車損傷修理システム。

【請求項9】インターネット上に自動車損傷情報を入力する自動車損傷情報入力手段と、該自動車損傷情報に基づいて自動車修理の見積りを行い該見積り結果を回答する自動車損傷見積り手段と、損傷した自動車を修理する修理工場とを結び、前記自動車損傷情報入力手段は、損傷自動車の図面を表示する表示手段と、該自動車を特定する自動車基本情報と損傷箇所を指定する自動車損傷情報と電話番号とを入力する入力手段と、前記自動車基本情報と自動車損傷情報と電話番号とを前記自動車損傷見積り手段に送信する手段を有し、前記自動車損傷見積り手段から損傷自動車の図面を入手し、損傷した自動車の損傷箇所を選択し前記自動車損傷見積り手段に送信すると共に、損傷自動車を修理する修理工場を検索するための電話番号を自動車損傷見積り手段に送信し、自動車損傷見積り手段は、前記自動車損傷情報入力手段から受信した損傷情報と前記選択された損傷箇所に該当する樹目の箇所、面積に応じて自動車の修理金額と修理に必要な日数の見積りを算出して前記自動車損傷情報入力手段に送信すると共に、前記自動車損傷情報入力手段から得た前記電話番号を用いて損傷自動車の修理を行う少なくとも一つ以上の修理工場を検索し、検索結果から前記自動車損傷情報入力手段に納期と前記修理工場の情報を送信し、修理工場は、自動車損傷見積り手段から送信された損傷自動車の損傷情報から修理に必要な見積り金額と作業納期を自動車損傷見積り手段に送信し、前記自動車損傷情報入力手段からの承諾通知を受信した時に、自動車損傷見積り手段は、前記修理工場に修理依頼することを特徴とする自動車損傷見積り修理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットを介して行う自動車損傷修理システム及び自動車損傷修理見積り方法に関する。

【0002】

【従来の技術】事故等による自動車の修理は通常、損傷自動車を修理工場に持ちこみ、修理工場で行われる。その際、修理工場は修理依頼者に対して修理金額と、修理日数の見積り回答を行う。従来これらの見積りは損傷自動車を見ながら、作業項目、交換部品、作業時間などを列挙し、部品代合計金額と技術料との合計を算出し見積りを出す。例えば、図9に示すような所定の見積り用紙に損傷箇所を逐一記入し、積み上げて行く。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、係る見

積り金額の算出と作業日数の算出には経験と知識を必要とし、見積りに時間を要し、修理依頼者が自動車を修理工場に持ち込み、すぐに回答を得ることが出来なかった。特に修理内容に钣金、塗装が含まれる場合には更に時間を要した。

【0004】一般に修理依頼者は、詳細で正確な見積りより、まず概算金額を知ることが要求するのが一般的であり、また、損傷自動車を修理工場に持ち込めない場合や、事故直後に示談に必要な見積りを知りたいなどの要求もあるが対応出来ないなどの問題点があった。

【0005】本発明は係る問題を解決して迅速で、標準化された見積りを行う、自動車損傷修理システム及び自動車損傷修理見積り修理方法を提供することを目的としてなされたものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は上記目的を達成するために請求項1記載の自動車損傷修理システムは、インターネット上に自動車損傷情報を入力する自動車損傷情報入力手段と、該自動車損傷情報に基づいて見積りと該見積り結果を回答する自動車損傷見積り手段と、損傷した自動車を修理する修理工場とを結んだ自動車損傷修理システムであって、前記自動車損傷情報入力手段は、損傷自動車の図面を表示する表示手段と、該自動車を特定する自動車基本情報と損傷箇所を指定する自動車損傷情報と電話番号とを入力する入力手段と、前記自動車基本情報と自動車損傷情報と電話番号とを前記自動車損傷見積り手段に送信する手段を有し、自動車損傷見積り手段は、前記入力手段から送信された各種情報を受信する手段と、前記損傷自動車の図面と、前記損傷した自動車の見積り回答を前記自動車損傷情報入力手段に送信する手段と、前記自動車の修理工場を検索する手段と、該検索結果に基づいて前記検索された修理工場に見積りと修理依頼とをする手段とを具備することを特徴とする。

【0007】請求項2記載の自動車損傷修理システムでは、請求項1に記載の自動車損傷見積り手段は、自動車損傷見積り手段から送られた自動車基本情報を用いて損傷自動車と同じ自動車を樹目で区分して表示された前面図、後面図、上面図、側面図の任意の図面を自動車損傷情報入力手段に送信することを特徴とする。

【0008】請求項3記載の自動車損傷修理システムでは、請求項1に記載の自動車損傷見積り手段は、前記自動車損傷情報入力手段から送信された損傷自動車の損傷箇所を指定した樹目の箇所、面積に応じて損傷箇所を特定し、自動車の修理金額と修理に必要な作業日数の見積りを算出し、前記自動車損傷情報入力手段に見積り回答を送信することを特徴とする。

【0009】請求項4記載の自動車損傷修理システムでは、請求項1に記載の自動車損傷見積り手段は、自動車損傷情報入力手段から入力された電話番号を用いて自動

車の修理をする少なくとも一つ以上の修理工場を検索する手段を有し、該検索結果に基づいて前記検索された修理工場に損傷自動車の修理見積り依頼を行うことを特徴とする。

【0010】請求項5記載の自動車損傷修理システムでは、請求項1に記載の自動車損傷情報入力手段に表示される任意の自動車図面は、行方向及び列方向に樹目の番号を付し、損傷箇所に該当する樹目を番号で選択することを特徴とする。

【0011】請求項6記載の自動車損傷修理システムでは、請求項1に記載の自動車損傷見積り手段は、前記修理に必要な見積り回答には、少なくとも作業日数、修理金額、自動車修理工場とを含むことを特徴とする。

【0012】請求項7記載の自動車損傷修理システムでは、請求項1に記載の自動車損傷情報入力手段は、携帯電話であることを特徴とする。

【0013】請求項8記載の自動車損傷修理システムでは、請求項1に記載の自動車損傷見積り手段は、検索された自動車修理工場の中から納期、工場ランクを優先的に参照して推薦修理工場を決定し、前記自動車損傷情報入力手段に送信することを特徴とする。

【0014】請求項9記載の自動車損傷修理見積り方法では、インターネット上に自動車損傷情報を入力する自動車損傷情報入力手段と、該自動車損傷情報に基づいて自動車修理の見積りを行い該見積り結果を回答する自動車損傷見積り手段と、損傷した自動車を修理する修理工場とを結び、前記自動車損傷情報入力手段は、損傷自動車の図面を表示する表示手段と、該自動車を特定する自動車基本情報と損傷箇所を指定する自動車損傷情報と電話番号とを入力する入力手段と、前記自動車基本情報と自動車損傷情報と電話番号とを前記自動車損傷見積り手段に送信する手段を有し、前記自動車損傷見積り手段から損傷自動車の図面を入手し、損傷した自動車の損傷箇所を選択し前記自動車損傷見積り手段に送信すると共に、損傷自動車を修理する修理工場を検索するための電話番号を自動車損傷見積り手段に送信し、自動車損傷見積り手段は、前記自動車損傷情報入力手段から受信した損傷情報と前記選択された損傷箇所に該当する樹目の箇所、面積に応じて自動車の修理金額と修理に必要な日数の見積りを算出して前記自動車損傷情報入力手段に送信すると共に、前記自動車損傷情報入力手段から得た前記電話番号を用いて損傷自動車の修理を行う少なくとも一つ以上の修理工場を検索し、検索結果から前記自動車損傷情報入力手段に納期と前記修理工場の情報を送信し、修理工場は、自動車損傷見積り手段から送信された損傷自動車の損傷情報から修理に必要な見積り金額と作業納期を自動車損傷見積り手段に送信し、前記自動車損傷情報入力手段からの承諾通知を受信した時に、自動車損傷見積り手段は、前記修理工場に修理依頼することを特徴とする。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例について説明する。図1は、本発明の1実施例を説明する図である。図1において、符号11a、11b、11cは、自動車の損傷情報を入力する自動車損傷情報入力手段11で例えば携帯電話やパソコン等である。符号10は、自動車損傷情報に基づいて見積りと該見積り結果を回答する自動車損傷見積り手段、符号12a、12bは、損傷した自動車を修理する修理工場12、符号13は、前記の各手段が接続されているインターネット網である。

【0016】前記各手段は、周知の方法でインターネット網13に接続され、周知の方法で情報の授受を行うものとする。

【0017】（見積り手法）ここで、発明の理解を容易にするために、自動車損傷見積り手段10が行う見積り方法について述べる。係る見積り方法は、本発明者が平成11年特許願第119850号に開示している見積り方法を携帯電話に適用したものである。修理依頼者は自動車損傷情報入力手段11を用いて損傷自動車の車名、年式、車体形状等の自動車基本情報を自動車損傷見積り手段10に送信する。自動車損傷見積り手段10は、損傷した自動車の図面を自動車損傷情報入力手段11に送信する。自動車損傷情報入力手段11は、前記図面を用いて損傷箇所を指定し、自動車損傷見積り手段10に送信する。自動車損傷見積り手段10は、損傷自動車の自動車基本情報と前記自動車損傷情報を用いて钣金復元と塗装などに要する標準金額から概算見積りど作業日数を算出し自動車損傷情報入力手段11に回答するものである。

【0018】図4は、損傷箇所が表面の傷のみがある場合に用いる自動車の各部を自動車損傷情報入力手段11の図示していない表示装置に表示した画面41である。画面41には自動車の前面図42、右側面図43、後面図44、左側面図45、上面図46が各々表示されている。そして、画面41には前記の各図面を選択する指示47が表示されていて、修理依頼者は傷のある場所の番号を入力して損傷情報入力手段11から自動車損傷見積り手段10に送信する。

【0019】例えば、左側面図45を選択した場合、自動車損傷見積り手段10は図5のような画面51を損傷情報入力手段11に送信する。図5には、左側面図45の拡大図である符号54で示す図面が表示されている。そして画面51には行方向にX1からX16の番号を、列方向にY1からY22の番号を付して、画面を樹目に区分けしてある。ここで行方向、列方向の樹目の数はこれ以外で良い事はいうまでもない。

【0020】そして図示していない修理依頼者は画面54に表示された図面上の損傷箇所を損傷情報入力手段11の例えば図示していない入力キーを用いて樹目の番号を入力する。例えば図6の画面61の斜線で示す樹目の

ように、損傷箇所がX9Y8、X9Y9、X9Y10の部分である場合には損傷情報入力手段11から行番号、列番号の順に（9，8）、（9，9）、（9，10）を入力して自動車損傷見積り手段10に送信する。

【0021】又、図7は、損傷箇所に1cm以上のへこみがある場合に用いる自動車の各部を自動車損傷情報入力手段11の図示していない表示装置に表示した画面71である。画面71には自動車の前面図72、右側面図73、後面図74、左側面図75、上面図76が各々表示されている。又、画面71には行方向にX1からX16の番号を、列方向にY1からY22の番号を付して、画面を樹目に区分けしてある。ここで行方向、列方向の樹目の数はこれ以外で良い事はいうまでもない。

【0022】そして図示していない修理依頼者は図面上の損傷箇所を損傷情報入力手段11の、例えば図示していない入力キーを用いて樹目の番号を入力する。例えば、図8の画面81に表示された斜線で示す樹目のように、損傷箇所が前面図72ではX10Y1、X10Y2、X11Y2、X11Y3、X11Y7、上面図76ではX10Y6、X10Y7、X11Y1、左側面図75ではX14Y7、X15Y7、X16Y6、X16Y7の部分である場合には、損傷情報入力手段11から行番号、列番号の順に（10，1）、（10，2）、（10，6）、（10，7）、（11，1）、（11，2）、（11，3）、（11，7）、（14，7）、（15，7）、（16，6）、（16，7）を入力して自動車損傷見積り手段10に送信する。

【0023】前記した損傷箇所の表示は樹目のデータ入力を行った時に画面に損傷箇所の色や濃度を変化して表示し、入力した損傷箇所の確認をできるようにしても良く、又、入力したデータを表示して確認するようにしても良い。更に又、図8の表示は、表面の傷のみの場合と同様に、前面図72、右側面図73、後面図74、左側面図75、上面図76を各々指定して、指定された図面を表示して損傷箇所を順次入力するようにしても良い。

【0024】図2及び図3は、図1のシステムにおいて本発明の処理のフローチャートである。以下、図2及び図3を用いて本発明を説明する。図2及び図3は、処理を自動車損傷情報入力手段と自動車損傷見積り手段と修理工場の処理を平行して示してある。

【0025】図2において、自動車の損傷が発生した場合、図示していない修理依頼者は処理201において例えば携帯電話のような自動車損傷情報入力手段11aを用いてインターネットを介して自動車損傷見積り手段10に接続し、損傷車輛の情報として自動車の車名、年式、車体形状等の自動車基本情報を送信する。係る情報の入力には特に断らない限り、図示していない携帯電話にある通常の10キー、ファンクションキーから入力する。以下自動車損傷情報入力手段11は、携帯電話11aとして説明する。

【0026】自動車損傷見積り手段10は、処理202において自動車損傷情報入力手段11aから送信された自動車基本情報を受信すると、自動車の補修又は修復の選択概要を把握するために、表面の傷のみか、1cm以上のへこみがあるかを問い合わせる画面を自動車損傷情報入力手段11aに送信する（図示せず）。

【0027】自動車損傷情報入力手段11aは、自動車損傷見積り手段10からの問い合わせに回答する情報を自動車損傷見積り手段に送信する（図示せず）。そして自動車損傷見積り手段10は、図示していない見積り問い合わせ記録を作成して、図示していない保存手段に格納する。

【0028】処理203において自動車損傷見積り手段10は、自動車損傷情報入力手段11aから送信された自動車基本情報から対象となる自動車の図面を図示していない図面格納手段から検索する。そして、自動車の補修又は修復の選択概要に従って、表面の傷のみの場合には図4を、1cm以上のへこみがある場合には図7を自動車損傷情報入力手段11aに送信する。そして処理204において自動車損傷情報入力手段11aは、図示していない表示装置に前記受信した前記図4又は図7の図面を表示し、前記したようにして損傷箇所を入力して自動車損傷見積り手段10に送信する。

【0029】自動車損傷見積り手段10は、処理204で損傷情報入力手段11aから前記の見積り手法により入力して送信された損傷箇所を指定する自動車損傷情報を自動車損傷見積り手段10の図示していない保存手段に格納する。又、前記送信された自動車損傷情報をもとに処理205において前記見積り手法により以下のようにして概算見積りを算出する。即ち、自動車の車名、年式、車体形状と損傷箇所及びその容積と表面積から、钣金復元と塗装などに要する標準金額変換テーブルなどから概算見積りと作業日数を算出し、概算見積りと作業日数と共に画面209に示すような電話番号入力要求画面を損傷情報入力手段11aに送信する。

【0030】図示していない修理依頼者は、損傷情報入力手段11aに表示された概算見積りと作業日数を確認し、画面209に示す指示にしたがって自宅の電話番号を入力して自動車損傷見積り手段10に送信する。

【0031】自動車損傷見積り手段10は、処理208で損傷情報入力手段11aから送信された修理依頼者の自宅の電話番号を自動車損傷見積り手段10の図示していない保存手段に格納するとともに、処理210において前記電話番号から検索した近隣の修理工場12a、12b等に対してインターネット13を介して自動車の車名、年式、車体形状と損傷箇所及びその容積と表面積等のデータ配信を行う。

【0032】近隣の修理工場12a、12b等は自動車損傷見積り手段10から送信された前記自動車の損傷情報と画面207のメッセージとを受信し、見積りを行

い、作業開始日、納車日などを画面207の指示にしたがって処理211で自動車損傷見積り手段10に回答する。

【0033】自動車損傷見積り手段10は、処理212においてデータ配信した各自動車修理工場からの見積りを比較し、納期、工場ランクを優先して損傷して推薦修理工場を決定し損傷情報入力手段11aに画面213のように推薦修理工場の情報を送信する。

【0034】修理依頼者は、処理217において前記画面213を承諾した場合には了解の情報を、取り消しの場合には取り消しの情報を画面213の指示にしたがって損傷情報入力手段11aから自動車損傷見積り手段10に送信する。

【0035】自動車損傷見積り手段10は、処理215において前記損傷情報入力手段11aから受信した結果を推薦修理工場に送信し修理工場は処理216で前記結果を受信する。そして商談が成立した場合には商談処理218に進む。

【0036】図3は前記商談処理のフローチャートである。処理301では自動車損傷見積り手段10は、損傷情報入力手段11aから送信された修理依頼者の商談結果から商談成約記録を自動車損傷見積り手段10の図示していない保存手段に格納するとともに、商談が成約した場合には画面303のような顧客情報と、伝票コード、商談成立日時などを商談が成立した修理工場に送信する。

【0037】また、損傷情報入力手段11aに対しても画面302に示す推薦修理工場の情報を送信して処理304に進む。

【0038】処理304では、修理が完了したか、提示した見積り金額の修理が行われたかの確認依頼を推薦修理工場と修理依頼者の損傷情報入力手段11aに送信する。係る確認依頼を受信した推薦修理工場と修理依頼者は、処理307及び処理305において各々修理金額と納車日時を自動車損傷見積り手段10に送信する。前記確認依頼は推薦修理工場と修理依頼者から行っても良い。

【0039】処理308において自動車損傷見積り手段10は、前記推薦修理工場と修理依頼者との回答を照合し売上記録を図示していない保存手段に格納するとともに、前記推薦修理工場に対して手数料の請求を行う。推薦修理工場は処理309で自動車損傷見積り手段10に手数料の振込みを行い処理を終了する。

【0040】

【発明の効果】請求項1記載の自動車損傷修理システムによれば、インターネット上に自動車損傷情報を入力する自動車損傷情報入力手段と、該自動車損傷情報に基づいて見積りと該見積り結果を回答する自動車損傷見積り手段と、損傷した自動車を修理する修理工場とを結んだ自動車損傷修理システムであって、前記自動車損傷情報

入力手段は、損傷自動車の図面を表示する表示手段と、該自動車特定する自動車基本情報と損傷箇所を指定する自動車損傷情報と電話番号とを入力する入力手段と、前記自動車基本情報と自動車損傷情報と電話番号とを前記自動車損傷見積り手段に送信する手段を有し、自動車損傷見積り手段は、前記入力手段から送信された各種情報を受信する手段と、前記損傷自動車の図面と、前記損傷した自動車の見積り回答を前記自動車損傷情報入力手段に送信する手段と、前記自動車の修理工場を検索する手段と、該検索結果に基づいて前記検索された修理工場に見積りと修理依頼とをする手段とを具備することにより迅速で、標準化された見積りを行うことが出来ると共に、損傷自動車の近くの修理工場を検索して紹介することが出来る。

【0041】請求項2記載の自動車損傷修理システムによれば、請求項1に記載の自動車損傷見積り手段は、自動車損傷見積り手段から送られた自動車基本情報を用いて損傷自動車と同じ自動車を樹目で区分して表示された前面図、後面図、上面図、側面図の任意の図面を自動車損傷情報入力手段に送信することにより損傷箇所を視覚的に簡単に入力できる。

【0042】請求項3記載の自動車損傷修理システムによれば、請求項1に記載の自動車損傷見積り手段は、前記自動車損傷情報入力手段から送信された損傷自動車の損傷箇所を指定した樹目の箇所、面積に応じて損傷箇所を特定し、自動車の修理金額と修理に必要な作業日数の見積りを算出し、前記自動車損傷情報入力手段に見積り回答を送信することにより見積り作業の平準化と省力化が出来る。

【0043】請求項4記載の自動車損傷修理システムによれば、請求項1に記載の自動車損傷見積り手段は、自動車損傷情報入力手段から入力された電話番号を用いて自動車の修理をする少なくとも一つ以上の修理工場を検索する手段を有し、該検索結果に基づいて前記検索された修理工場に損傷自動車の修理見積り依頼を行うことで損傷自動車の近くの修理工場を検索することが出来る。

【0044】請求項5記載の自動車損傷修理システムによれば、請求項1に記載の自動車損傷情報入力手段に表示される任意の自動車図面は、行方向及び列方向に樹目の番号を付し、損傷箇所に該当する樹目を番号で選択することにより損傷箇所を簡単に把握できる。

【0045】請求項6記載の自動車損傷修理システムによれば、請求項1に記載の自動車損傷見積り手段は、前記修理に必要な見積り回答には、少なくとも作業日数、修理金額、自動車修理工場とを含むことで修理依頼者に安心感を与えることが出来る。

【0046】請求項7記載の自動車損傷修理システムによれば、請求項1に記載の自動車損傷情報入力手段は、携帯電話であることにより、自動車がどこで損傷しても簡単に、迅速に修理見積り依頼が出来る。

【0047】請求項8記載の自動車損傷修理システムによれば、請求項1に記載の自動車損傷見積り手段は、検索された自動車修理工場の中から納期、工場ランクを優先的に参照して推薦修理工場を決定し、前記自動車損傷情報入力手段に送信することにより迅速な修理と修理依頼者に安心感を与えることが出来る。

【0048】請求項9記載の自動車損傷見積り修理方法によれば、インターネット上に自動車損傷情報を入力する自動車損傷情報入力手段と、該自動車損傷情報に基づいて自動車修理の見積りを行い該見積り結果を回答する自動車損傷見積り手段と、損傷した自動車を修理する修理工場とを結び、前記自動車損傷情報入力手段は、損傷自動車の図面を表示する表示手段と、該自動車を特定する自動車基本情報と損傷箇所を指定する自動車損傷情報と電話番号とを入力する入力手段と、前記自動車基本情報と自動車損傷情報と電話番号とを前記自動車損傷見積り手段に送信する手段を有し、前記自動車損傷見積り手段から損傷自動車の図面を入手し、損傷した自動車の損傷箇所を選択し前記自動車損傷見積り手段に送信すると共に、損傷自動車を修理する修理工場を検索するための電話番号を自動車損傷見積り手段に送信し、自動車損傷見積り手段は、前記自動車損傷情報入力手段から受信した損傷情報と前記選択された損傷箇所に該当する樹目の箇所、面積に応じて自動車の修理金額と修理に必要な日数の見積りを算出して前記自動車損傷情報入力手段に送信すると共に、前記自動車損傷情報入力手段から得た前記電話番号を用いて損傷自動車の修理を行う少なくとも一つ以上の修理工場を検索し、検索結果から前記自動車損傷情報入力手段に納期と前記修理工場の情報を送信し、修理工場は、自動車損傷見積り手段から送信された損傷自動車の損傷情報から修理に必要な見積り金額と作業納期を自動車損傷見積り手段に送信し、前記自動車損傷情報入力手段からの承諾通知を受信した時に、自動車損傷見積り手段は、前記修理工場に修理依頼することにより、迅速で、標準化された見積りを行うことが出来ると共に、損傷自動車の近くの修理工場を検索して紹介し、損傷した自動車の迅速な修理を行うことが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の1実施例を説明する図である。

【図2】本発明の処理のフローチャートである。

【図3】本発明の商談処理のフローチャートである。

【図4】損傷箇所が表面の傷のみの場合に用いる自動車の各部を表示した図である。

【図5】自動車の左側面を表示した図である。

【図6】損傷箇所を入力した自動車の左側面を表示した図である。

【図7】損傷箇所にへこみがある場合に用いる自動車の各部を表示した図である。

【図8】損傷箇所にへこみがある場合損傷箇所を入力した自動車の各部を表示した図である。

【図9】従来の見積り用紙の一例である。

【符号の説明】

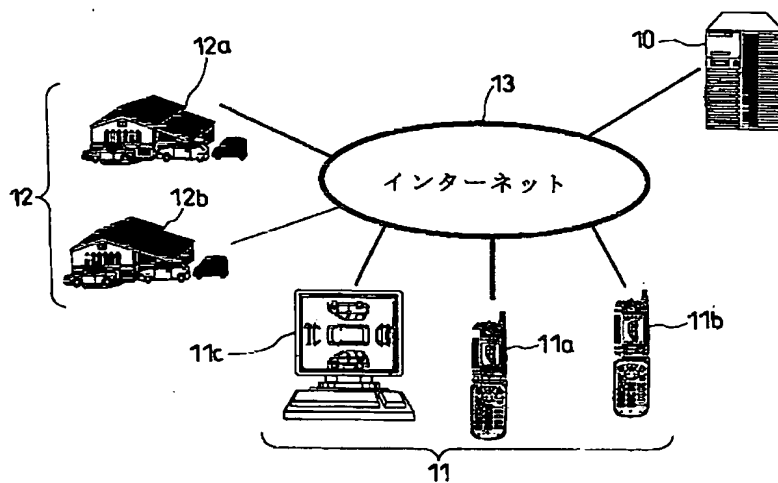
10 自動車損傷見積り手段

11a、11b、11c 自動車損傷情報入力手段

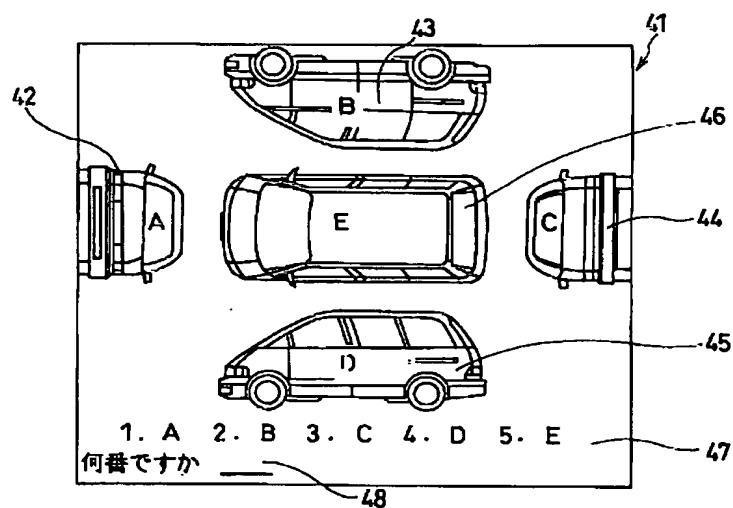
12a、12b 修理工場

13 インターネット網

【図1】



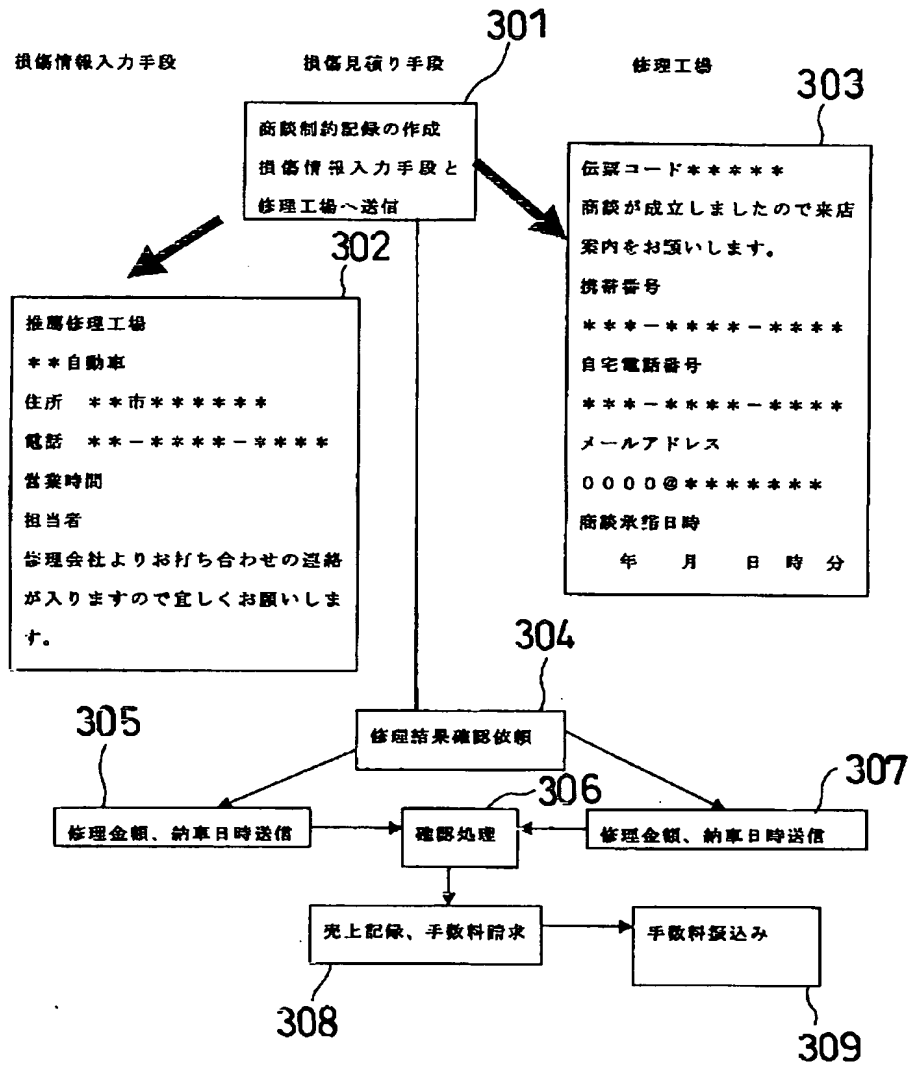
【図4】



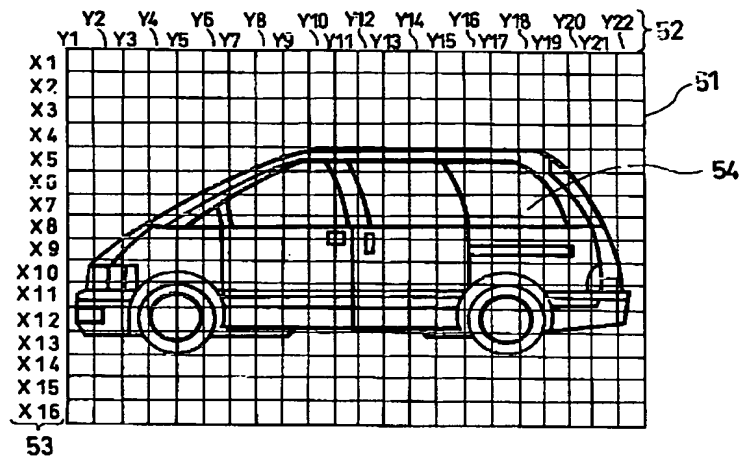




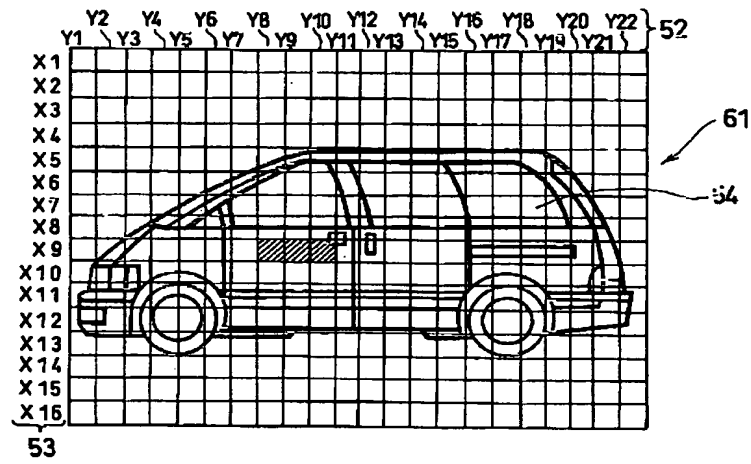
【図3】



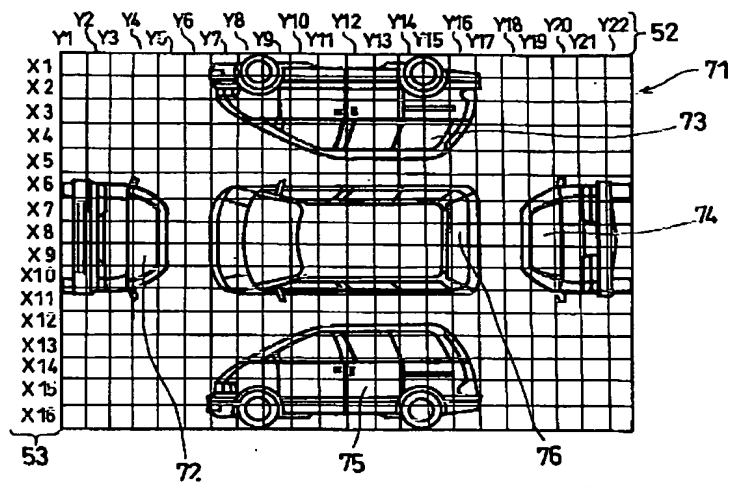
【図5】



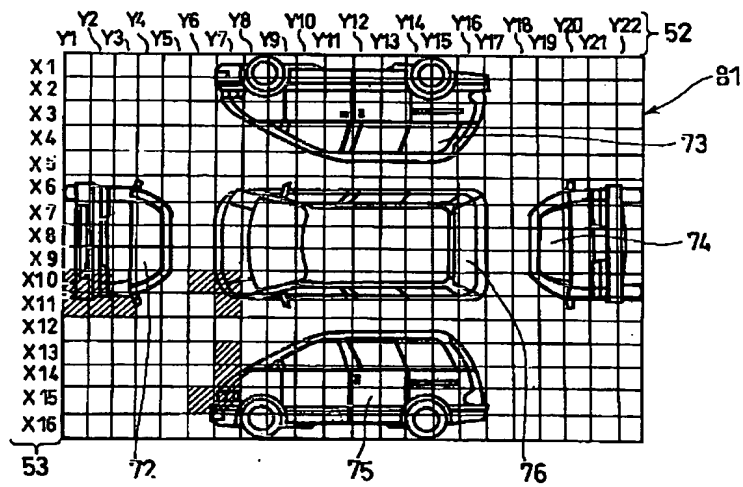
【図6】



【圖 7】



【圖 8】



(제 2) 102-123630 (P2002-123630A)

【図9】

## 御見積書

[illegible]